

| 年 月 日 | 被害地域 | 噴 火 の 記 録 | 被 害 状 況 |
|----------------------|------|--|---------|
| 平成21年(2009) 4月14日 | | 7時32分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は北東方向。 | 被害は特になし |
| 平成21年(2009) 4月30日 | | 20時2分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは500m。流向は北東方向。 | 被害は特になし |
| 平成21年(2009) 5月 3日 | | 3時20分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは400m。流向は北東方向。 | 被害は特になし |
| 平成21年(2009) 5月27日 | | 1時41分頃、ごく小規模な噴火発生。火口縁上の噴煙の高さは600m。流向は直上方向。 | 被害は特になし |
| | | | |

1 2 草津白根山の活動の歴史

| 年 月 日 | 活 動 状 態 |
|--------------------------|--|
| 昭和 2 年12月31日 | 湯釜北壁下部に長さ100mの大きな割れ目を生じ、岩塊・火山灰・泥土及び多量のガスを噴出し、湯釜内の水面は14m低下した。 |
| 昭和 3 年 1 月29日 | 19時頃から活動を始めた。31日にも活動継続中噴出した硫黄が吾妻川から利根川に入り水が白濁し魚が死んだ。 |
| 昭和 7 年10月 1 日 | 14時頃に爆発。草津でわずかに降灰、火口付近では死者2、負傷者7、山上の施設破損甚大 |
| 昭和 7 年10月 4 日 | 1時頃噴火、附近に降灰。 |
| 昭和 7 年10月 5 日 | 噴煙 |
| 昭和 7 年10月 6 日 | 小活動 |
| 昭和 7 年10月 8 日 | 6時40分噴火、その後終日噴煙 |
| 昭和 7 年10月18日 | 10時20分噴煙 |
| 昭和 7 年10月23日 | 10時20分頃噴煙 |
| 昭和 7 年10月26日 | 1時17分頃噴火 |
| 昭和 7 年10月27日 | 9時 3分頃噴火、その後終日噴煙 |
| 昭和 7 年10月28日 " 10月31日 | 終日噴煙 |
| 昭和 7 年11月27日 | 4時10分頃爆発鳴動、15～20分間にわたり山麓において戸障子が振動し降灰あり |
| 昭和 7 年12月 1 日 | 10時10分頃爆発 |
| 昭和 7 年12月28日 | 17時40分頃爆発 |
| 昭和 7 年12月30日 | 20時20分頃爆発 |

| 年 月 日 | 活 動 状 態 |
|-------------|--|
| 昭和7年12月31日 | 15時 5分爆発 |
| 昭和13年1月10日 | ときどき噴煙 |
| 昭和13年11月6日 | 終日噴煙 |
| 昭和13年11月7日 | ” |
| 昭和13年11月9日 | 14時50分頃噴煙 |
| 昭和13年11月15日 | 10時30分頃から終日噴煙 |
| 昭和13年11月19日 | 11時頃から終日噴煙 |
| 昭和14年 | 2月23日から噴煙が認められ、3月下旬から活動が急に盛んになり、4月中はほとんど連日噴火を繰り返し、しばしば降灰、特に4月11・19・24・30は活発、5月下旬頃から次第におだやかになった。 |
| 昭和15年4月7日 | 17時頃噴煙 |
| 昭和15年9月13日 | 16時頃噴煙 |
| 昭和16年1月19日 | 噴 煙 |
| 昭和17年2月2日 | 夕刻から翌朝にかけ活動し、水釜、湯釜、火口の東ないし南側外斜面に割れ目を生じた。活動時には噴煙、降灰があり、鳴動は草津町でも聞こえた。また、火口附近の施設破損。 |
| 昭和26年10月上旬 | 湯釜、火口の東外側斜面に2～3mの噴気孔が出現して、湯水たまり、噴気活動を行った。 |
| 昭和33年10月10日 | 湯釜に小規模の爆発 |
| 昭和38年 | 噴気活動の位置の移動、噴気活動はこの10年間余、湯釜の外側の南東斜面に中心があったが漸次水釜の外側の北斜面に移動し、湯釜の外側の南東斜面の噴気は休止した。また同時に濁っていた弓池の水は澄んだ。 |

| 年 月 日 | 活 動 状 態 |
|----------------------|--|
| 昭和49年 | 異常噴気 |
| 昭和51年3月2日 発見3月11日 | 水釜北東部内壁より水蒸気爆発(直径50m、深さ10mの噴火口)、北東100mの範囲は降灰、2箇所(湯釜)の噴気孔ができた。なお、地震記録から17時59分に噴出活動が起こり、その後10分間にわたって、小さなものが続いたことが推定された。 |
| 昭和52年1月4日 | 14時26分頃、水釜東側で噴気が活発になり音を伴って噴煙を20m位上げた。また同時に白根山頂一帯で震度3~4の有感地震があった。 |
| 昭和53年1月1日 | (無線式火山性振動装置による観測開始) |
| 昭和57年10月26日 | 9時05分頃噴火、噴火地点は涸釜の北側と湯釜の西~北西~北側に至る数箇所。降灰は殺生河原、草津町、長野原方面で認められた。 |
| 昭和57年12月29日 | 5時38分頃湯釜北西岸で噴火、15時30分頃から弱まる。降灰は北東方面へ4km。 |
| 昭和58年7月26日 | 12時12分、湯釜の北西岸で噴火、鳴動を伴う。噴石は湯釜の内壁稜線を越えて湯釜の東外側に落下した。 |
| 昭和58年11月13日 | 11時40分、12時08分の2回噴火、爆発音を伴う。 噴火地点は湯釜北西岸と涸釜を連ねる弱線上、噴火口から600~700mの範囲に入頭大の噴石を放出し、駐車場、道路、地震計用埋設ケーブル等に被害があった。降灰は東南東方向約45kmまで観測された。 |
| 昭和58年12月21日 | 10時30分、湯釜から涸釜を連ねる弱線上の数ヶ所で噴火、噴煙の高さは300m、南東方向400mまで降灰があった。 |
| 平成元年1月6日 | 極小規模の火山活動があった。 |
| 平成8年2月7日 | 10時44分頃 湯釜湖面において、極小規模の表面現象が生じた。 |
| 平成16年5月19日 | 地震活動が活発になったが、火山活動には関係ない地震であった。 |
| 平成20年8月頃 | 湯釜北側水際部(水釜方面)で熱活動が活発化してきた。 北側噴気地帯と水釜北東斜面噴気地帯との間に新たに噴気が確認された。 |

| 年 月 日 | 活 動 状 態 |
|------------|--|
| 平成21年4月10日 | 草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。 |
| 平成22年4月 8日 | 草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。 |
| 平成23年4月 6日 | 草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。 |
| 平成23年5月27日 | 平成20年1月9日以来の火山性微動が観測された。 |
| 平成24年4月11日 | 草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。 |
| 平成25年4月17日 | 草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。 |
| 平成26年4月10日 | 草津白根山防災会議協議会において、平成20年8月頃から火山活動の活発化が継続されており、登山道の冬季閉鎖解除をせず、第1次規制（500m）を継続する方針とした。 |
| 平成26年6月 3日 | 湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が3月上旬から増加。 噴火警戒レベルを1から2へ引き上げ |

13 自衛隊の災害派遣要請状況（昭和50年以降）

| 要 請 期 間 | 要 請 理 由 | 活 動 内 容 |
|------------------|--------------------|--------------------------|
| 50. 1. 4～ 1. 5 | 山岳遭難（谷川岳） | 遭難者の捜索及び空輸 |
| 4. 17～ 4. 25 | 山崩れ（水上町湯桧曾地区） | 被害家屋の除去及び啓開作業 |
| 6. 12～ 6. 17 | 集中豪雨（昭和村） | 校庭の土砂排除及び防疫作業 |
| 51. 8. 3 | 硫化水素ガス中毒（本白根山） | ヘリコプターによる偵察 |
| 52. 4. 2 | 山岳遭難（至仏山） | 負傷者の空輸 |
| 5. 10 | 林野火災（高山村知高地区） | ヘリコプターによる偵察 |
| 53. 8. 5～ 8. 18 | 軽飛行機の遭難 | ヘリコプターによる捜索 |
| 54. 1. 26 | 林野火災（松井田町坂本地区） | ヘリコプターによる偵察 |
| 3. 29～ 3. 30 | 林野火災（桐生市梅田地区） | ヘリコプターによる偵察・消火 |
| 4. 1～ 4. 2 | 林野火災（利根村大字小松地区） | ヘリコプターによる偵察 |
| 12. 5 | 心臓病患者の空輸 | ヘリコプターによる空輸 |
| 55. 3. 24 | 山岳遭難（上信国境） | ヘリコプターによる捜索 |
| 9. 3 | 心臓病患者の空輸 | ヘリコプターによる空輸 |
| 56. 1. 31～ 2. 3 | 水道管破損に伴う断水 | 給水車による給水 |
| 57. 2. 16 | 山岳遭難（谷川岳） | ヘリコプターによる捜索 |
| 8. 4 | 救援物資搬送（六合村） | ヘリコプターによる救援物資搬送 |
| 10. 15～10. 20 | 簡易水道源汚染に伴う断水（月夜野町） | 給水車による給水 |
| 60. 5. 27～ 5. 29 | 水難（玉村町） | ボート等による捜索 |
| 62. 2. 27～ 2. 28 | 林野火災（桐生市菱町黒川地区） | ヘリコプターによる偵察・消火 |
| 3. 5 | 林野火災（渋川市金井地区） | 地上部隊による消火 |
| 5. 11 | 林野火災（上野村楢原地区） | ヘリコプターによる消火 |
| 5. 4. 19～ 4. 20 | 林野火災（沼田市戸神町） | ヘリコプターによる偵察・消火 |
| 4. 27～ 4. 28 | 林野火災（万場町森戸地区） | ヘリコプターによる偵察・消火 |
| 6. 4. 17 | 林野火災（箕郷町松之沢地区） | ヘリコプターによる偵察 地上部隊による消火 |
| 4. 22 | 林野火災（高崎市山名町） | ヘリコプターによる偵察 地上部隊による消火 |
| 7. 4. 22～ 4. 23 | 林野火災（高崎市山名町） | ヘリコプターによる消火 地上部隊による消火 |
| 7. 12. 29～12. 30 | 林野火災（上野村天丸山） | ヘリコプターによる消火 |
| 8. 3. 24 | 林野火災（高崎市山名町） | ヘリコプターによる消火 |
| 8. 4. 6 | 林野火災（妙義町下高田地区） | ヘリコプターによる消火 |
| 9. 3. 4～ 3. 6 | 林野火災（大間々町塩沢地内） | ヘリコプターによる消火 地上部隊による消火 |
| 3. 7～ 3. 9 | 林野火災（安中市・榛名町） | ヘリコプターによる消火 地上部隊による消火 |
| 10. 8. 28～ 8. 30 | 集中豪雨による断水（水上町） | 給水車等による給水 |
| 12. 3. 4 | 林野火災（桐生市川内町5丁目） | ヘリコプターによる消火 |

| 要 請 期 間 | 要 請 理 由 | 活 動 内 容 |
|------------------|--------------------------|---|
| 14. 4. 4 | 林野火災（榛東村上野原） | ヘリコプターによる消火 |
| 14. 4. 5 | 林野火災（安中市東上秋間） | ヘリコプターによる消火 |
| 14. 5. 6 | 林野火災（桐生市菱町5丁目） | ヘリコプターによる消火 |
| 16. 1. 28～ 1. 29 | 林野火災（桐生市広沢町6丁目～太田市吉沢町） | ヘリコプターによる消火 |
| 18. 1. 14～ 1. 15 | 豪雪災害（みなかみ町立幸知小学校） | 除排雪作業 |
| 19. 9. 9～ 9. 14 | 台風9号による風水害 | ①被災地域の状況解明、②孤立地域に対する緊急物資の輸送、③応急道路復旧支援、④給水支援 |
| 21. 4. 9 | 林野火災（沼田市佐山町） | ヘリコプターによる空中偵察、消火活動待機 |
| 25. 5. 7 | 林野火災（桐生市菱町白葉峠） | ヘリコプターによる消火 |
| 26. 2. 15 | 大雪（高崎市箕郷町） | 立ち往生車両からの救出 |
| 26. 2. 16 | 大雪（高崎市寺尾町） | 孤立施設への支援物資の運搬 |
| 26. 2. 16 | 大雪（渋川市北橋町） | 孤立施設への支援物資の運搬 |
| 26. 2. 16 | 大雪（南牧村） | 停電の原因特定のための航空調査 |
| 26. 2. 16 | 大雪（上野村） | 透析患者の搬送 |
| 26. 2. 17～ 2. 19 | 大雪（南牧村） | 孤立住民の救出活動 |
| 26. 2. 18 | 大雪（藤岡市） | 物資の運搬及び孤立住民の安否確認 |
| 26. 2. 18～ 2. 19 | 大雪（藤岡市、上野村、下仁田町、南牧村、神流町） | 支援物資の運搬及び孤立住民の安否確認 |
| 26. 2. 19～ 2. 20 | 大雪（藤岡市） | 孤立住民の安否確認（陸路） |
| 26. 2. 19～ 2. 20 | 大雪（下仁田町） | 支援物資の運搬（除雪により運搬） |
| 26. 2. 19～ 2. 20 | 大雪（上野村、南牧村） | 支援物資の運搬（上野村） 重機オペレーター6名の輸送（南牧村） |

平成22年度～平成24年度は、派遣要請なし

1 4 昭和40年以降の災害救助法の適用状況

| 災害発生 年月日 | 災害 種別 | 救助法 適用 区域 | 被 害 状 況 | | | | | | | | | 備考 |
|--------------------------|-------------|-------------------|---------|--------|--------|--------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|-----------|
| | | | 人 的 | | 住 家 | | | | | り 災 世 帯 | | |
| | | | 死 者 | 傷 者 | 全 壊 | 半 壊 | 一 部 損 | 床 上 水 | 床 下 水 | 世 帯 | 人 員 | |
| S41. 6. 28 | 台 風 4 号 | 太田市 | 人 | 人 | 棟 2 | 棟 2 | 棟 7 | 棟 1,471 | 棟 5,689 | 世帯 832 | 人 5,508 | |
| S41. 9. 25 | 台 風 26 号 | 7 市 8 町 8 村 | 15 | 92 | 453 | 1,436 | 19,322 | 519 | 3,143 | 2,408 | 9,735 | |
| S49. 10. 6 | 山崩れ | 榛名町 | 6 | 6 | 3 | | | | 2 | 3 | 19 | 下里見 地区 |
| S50. 4. 14 | 山崩れ | 水上町 | | | 5 | | | | 3 | 4 | 9 | 湯桧曾 地区 |
| S57. 7. 31 ~ 8. 2 | 台 風 10 号 | 高崎市 | | | 12 | 60 | 74 | 371 | 2,022 | 446 | 1,508 | |
| H26. 2. 14 ~ 2. 15 | 雪 | 3 市 3 町 3 村 | 3 | 37 | | | 238 | | 4 | | | |